

西の里小学校 校歌

作詞 伊藤 貫一

作曲 林 喬木

(昭和35年10月10日制定)

一 みはるかす 地平のかなた
輝かに 朝日はのぼり
大きなぞみ 胸にあふるる
いざや学ばん 西の里われらが学び舎

二 ひらけゆく ゆたかなる土
先人のいさお しのべば
あらたなる かわきいづ
いざや励まん 西の里われらが学び舎

三 山青く 水は澄みたり
伝統ふかく ここにつちかい
知と徳を 育てはぐくむ
いざや磨かん 西の里われらが学び舎



校章の由来

昭和35年11月開校60周年記念式典時に制定。制定者は東部中学校西の里分校(当時)教諭 藤原信義氏

- 六角形は雪の結晶を表し北海道の子どもに厳しい風雪に耐える健康な生活を期待している。
- 六角先端の縞模様は、原始の森のトド松を表し、自然を愛護し大自然の摂理を求める学習と生活を象徴している。
- 六角の中に西の字を配し、中央白地に西の里の「の」四方に「里」の文字を配している。